

★完全予約製造方式★



**RETEC**®  
LTC50 J



Produced by JALOA;JAPAN & Refine Technology ;CHINA

<http://www.jaloe.or.jp>

## 有機物低温熱炭化処理装置が ハイエンドモデルとなって新登場

High-End Model Debut



### 有機物低温熱炭化処理装置 RETEC とは？

有機物低温熱炭化処理装置（RETEC）は従来の焼却炉のゴミ処理機とは全く異なったシステムの有機物処理機です。本機は、分離処理及び分別手間を削減する為、環境にも優しく、どこでも設置可能な有機廃棄物処理装置として開発されました。焼却炉でない為、有機物廃棄物の処理に化石燃料等は一切かかりません。また 400℃未満で処理する為、ダイオキシン等の排出もきわめて抑制され、地球環境の保護にも大きく貢献します。処理物としては、鉄・陶器・貝殻・ガラス・銀紙・ガラス繊維等以外の有機物はほとんどを処理いたします。



PHOT:RETEC-LTC50J

- 主な新機能
- タッチパネルによる簡単操作
  - 遠隔監視・ごみ処理情報データ化などの ICT を標準搭載
  - 自動ゴミ投入機能を搭載し安全性にも配慮



## 製品詳細

### RETEC / LTC30

シリーズ	RETEC/LTC30
サイズ	H2780×W 3900×D 2380
容量 ( m <sup>3</sup> )	3.0 m <sup>3</sup>
重量	約 3850kg
日産処理能力	3.0 m <sup>3</sup>
使用電源	200V/3 P、50Hz/60Hz
電気容量	7.2 k w
販売価格	海外販売なし

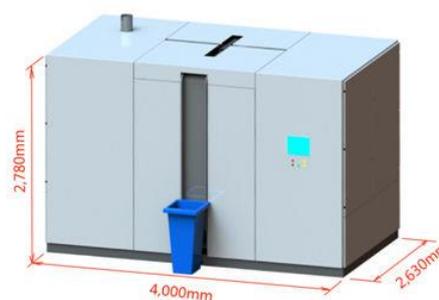


### RETEC / LTC50

シリーズ	RETEC/LTC50
サイズ	H2780×W 4000×D 2630
容量 ( m <sup>3</sup> )	5.0 m <sup>3</sup>
重量	約 5800kg
日産処理能力	5.0 m <sup>3</sup>
使用電源	200V/3 P、50Hz/60Hz
電気容量	7.2Kw
販売価格	1680 万*

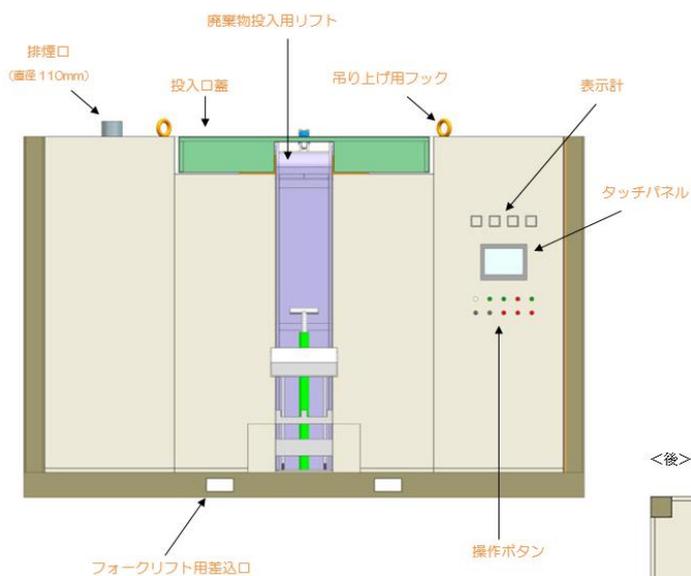


\*LTC50Jの普及キャンペーン価格については、JALOA統括普及認定機関へ御照会下さい。

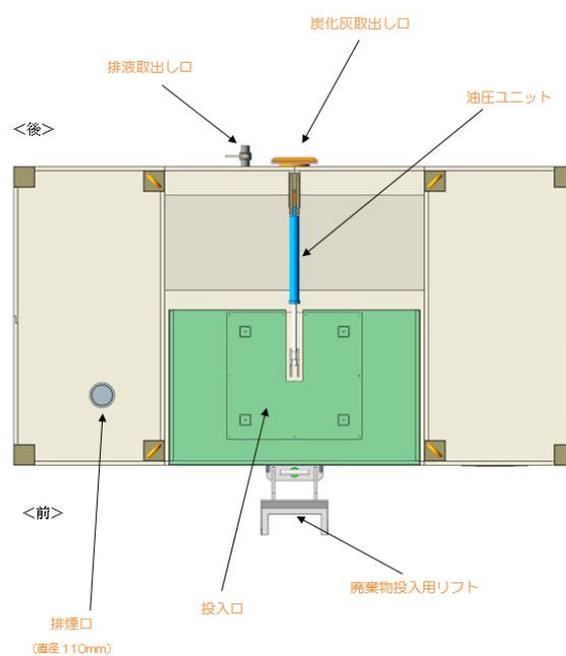


# RETEC / LTC50J

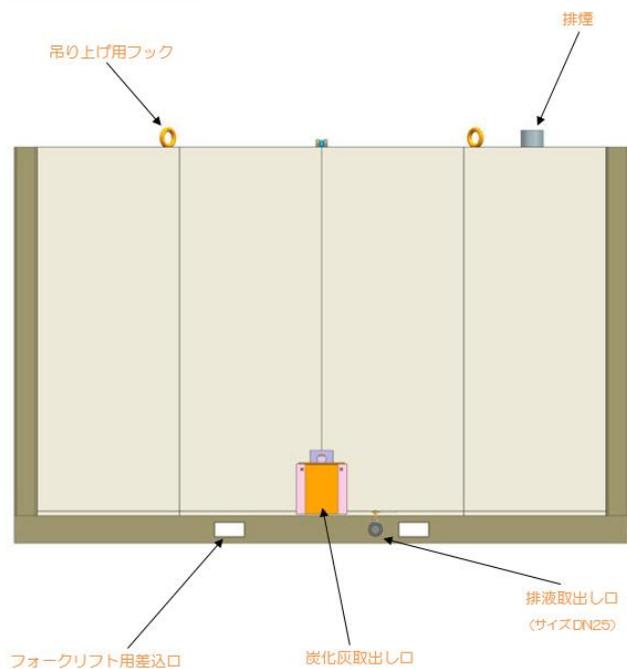
(1)正面



(2)平面



(3)背面



## RETEC の特徴



### 無燃料稼働

あらゆる有機廃棄物を炭化灰に処理する装置です。焼却炉等の燃焼処理装置ではなく、補助化石燃料を使わず、廃棄物自体が燃料となる処理方式です。低炭素状態を維持しながら、有機廃棄物を低温熱分解処理する為、環境にも優しい処理装置です。



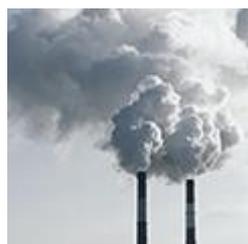
### 炭化灰へリサイクル

処理された有機廃棄物は、投入量に対して 1/100～1/300 の炭化灰になります。（混入された金属類等の非処理物はそのままの状態です。排出され、回収できます）炭化灰は成分検査したうえで、焼却灰と同様にリサイクルが可能です。標準で 8 時間を 1 サイクルとしますが、連続投入が可能です。



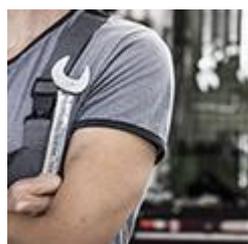
### 低ランニングコスト

補助化石燃料が使用しない為、ランニングコストも非常に安いです。特殊な吸気装置により空気をコントロールし、炉内の比較的低温の 350℃～380℃に保ち燻製処理を進めます。最初に一度だけ炉心を入れその後、補助燃料は必要ありません。処理機制御システムへの電力供給のみで運転します。



### 大気汚染抑制

標準装備として消臭・消煙装置が付属しています。400℃以下の低温熱分解処理の為、ダイオキシン類・窒素酸化物などの有害物質生成を抑制しています。また焼却炉と比べ、排ガス排出量がとても少ない為、温室効果ガスの削減や今後、排出権取引などへの貢献を期待されます。※処理廃棄物の種類及び割合により、有害物質生成も大きく影響されますので、設置前に処理テストを行うことをお勧めします。



### 簡単メンテナンス

シンプルな処理構造に徹した為、運転操作、定期点検やメンテナンス作業も簡単にできます。り除くだけで、他のメンテナンスはフリーです。処理炉は二重構造となっており、耐久性にも安全性にも優れています。

## 分解できるもの・できないもの

ほとんどの有機廃棄物が分別せずにまとめて処理可能です。

### ○ 分解できるもの

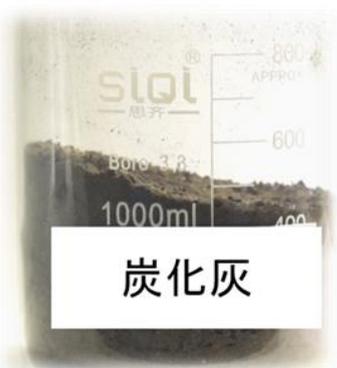
金石油製品（タイヤ・プラスチック・発泡スチロール、ビニール等）  
 水産・漁業廃棄物  
 魚のアラ・魚網等  
 畜産廃棄物（馬糞・牛糞・畜舎のわら等）  
 樹木等  
 庭木・木片・おがくず等  
 紙類  
 雑誌・カタログ・ダンボール・電話帳等  
 オムツ・ペットシート等  
 解体ごみ

### × 分解できないもの

金属類  
 ガラス・陶器・磁器  
 石材・石膏ボード  
 アスベスト・コンクリート等の建築廃材汚泥・砂礫  
  
 ※社会通念上処理してはいけないものや、揮発性・爆発性のものも処理できません。

※効率的に処理する為に、投入する有機廃棄物含水率を 50%以下にコントロールすることをお勧めします。  
 含水率の高い場合には、熱風ヒーターの併用もしくは投入前に事前処理で、水分を一定程度取り除く必要があります。

## 生成物について



低温炭化装置を稼働する上で副産物として、炭化灰と木酢液が生成されます。投入される有機廃棄物の種類や物資割合によって、生成物質も変化しますので、排出された炭化灰と木酢液は成分検査を実施したうえ、設置自治体のルールに従って回収処理が必要です。生成量に応じて、再資源化リサイクルなども可能です。

## 低温熱炭化処理のイメージ



## 消臭・消炎装置の標準装備（内蔵化）

有機物低温熱炭化装置、ハイエンドモデル RETEC には、標準装備として消臭・消炎装置が内蔵化されています。（フィルター等の消耗備品については、お尋ねください。）



◎視察見学会場（西日本支局機関 ロハス株式会社）

〒669-4323 兵庫県丹波市市島町梶原 1047 番地 1

TEL：0795-85-3301(担当：丸山 信)

URL：http://threes-3s.co.jp （スリーエスグループ）

⇒装置設置エリア：兵庫県

**\* 産業廃棄物処理の運送コストの削減と、地球温暖化防止に向けた焼却煙のでない環境に資する産廃処理事業の新たなビジネスモデルを構築するため稼働させます。**

●兵庫県設置装置「RETEC-LTC50J」

有機物低温熱分解処理装置は、技術開発及び製造技術をもつ国内、海外会員企業より一般社団法人日本有機物低温熱分解処理装置普及振興機構（JALOA）がその技術監修及び広報普及を受託し、その製品の共同購買事業による受発注取次を、国土交通省関東地方整備局認可の日本環境建設技術振興事業協同組合が統括的に受託しております。

RETEC ハイエンドモデル製品の詳細及びお問合せは

<http://www.jaloe.org/>